

B チャレ（提案公募型協働事業）【令和元年度】報告書

提出日	令和2年 3月 7日	記入者	大道寺勇人
団体名	ゆしまごころ実行委員会 ■任意団体 □NPO 法人 □企業 □その他()		
事業名	地域紙「ゆしま子育て新聞」作成を通じて、地域をつなぐ		
協働団体	各町会(天一・天二・天三・同朋・切通・竜岡・三組弥生・三組・両門)、 文京学院大学古市ゼミ、白梅商店会、東京こども専門学校、AEL 湯島 こそだて応援まちぷら、ゆったり島キッズ、こぼとくらぶ 地域の子育て中家庭、ライター則竹知子・大道寺恵美子 はんこ屋さん21湯島店、地元店舗・企業・各医院など		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	企画・進行・発行：ゆしまごころ実行委員会 デザイン制作・印刷：はんこ屋さん21湯島店 取材・記事作成・編集・校正：ライター則竹知子・大道寺恵美子 子育てアンケート実施：文京学院大学古市ゼミ 区民課補助金取得・配布協力・取材協力：協力各町会 取材協力・情報提供：東京こども専門学校・こそだて応援まちぷら ゆったり島キッズ、こぼとくらぶ、AEL 湯島、地域の子育て中家庭 地元店舗・企業・各医院など		
担当者名	大道寺勇人	役職等	事務局

<p>部門 (1か2 いずれか ○)</p>	<p>① 地域活性化部門</p> <p>2. 課題解決部門(いずれかに○)</p> <p>1. 住民居住地域の活動へ参加するキッカケづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 在住歴の比較的短い住民が、地域活動にアプローチしやすくするための活動 (2) 高齢者の自主的な取り組みを支援する活動 (3) 高齢者を地域で見守る環境づくりにつながる活動 (4) 地域のつながりから防災意識の向上を目指した活動 (5) 受動喫煙防止に取り組む区内飲食店を支援する活動 <p>2. 子どもを地域で支える取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 区立小学校における通学中の安全を守る活動 (2) 不登校等で孤立しがちな児童・生徒を支える活動 (3) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (4) 18歳に到達したことにより行政からの支援が終了するケース(虐待、不登校、引きこもり)等を引き続き地域で支援する活動 <p>3. その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み</p>
<p>目的 地域のどんな 課題を解決し たいかを明記</p>	<p>「新住民」と、以前から住んでいる「旧住民」がつながり、気軽に情報交換できるコミュニティでありたいというのが「ゆしまごころ実行委員会」の想いです。</p> <p>旧住民の代表である町会の悩みは、 「若手が不足して町の高齢化が進み、地域活動が停滞していること」。</p> <p>一方、新住民の悩みは、 「どうやって参加したらいいのかわからない。情報が無いこと」。</p> <p>国勢調査によると、湯島三丁目には子育て世帯を中心にした20～30代の住民が多く住んでいますが、そういった新住民には十分な地域の情報が届いていない現状があります。その結果、近隣住民と面識がない、孤独な子育てという状況が生まれていると考えています。</p> <p>「ゆしまごころ実行委員会」は、その解決策として、</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 敷居の低い第3の場作り 2) 街の情報をわかりやすく発信 <p>することをめざして活動してきました。</p> <p>1) については、町会と協力して「ちびっ子広場」「盆踊り」「みちあそび」「子育てトークイベント」など、子育てで地域を繋ぐイベントを開催してきました。</p>

	<p>活動に協力してくださる個人、町会、地域の子育て施設、子育て NPO や企業など年々少しずつ増えているので、そのリソースを生かして、</p> <p>2) 街の情報をわかりやすく発信する活動へ広げていきたいと考えています。</p>
<p>事業内容</p>	<p>「ゆしま子育て新聞」では、お母さんや子どもたちによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町会お祭り情報レポート ●町会イベントインタビュー ●町会の取り組む防災情報インタビュー ●地域で子育て事情を話し合う座談会 <p>を行い、掲載しました。インタビューは対象にお話を伺うだけでなく、<u>今まで接点を持つことのなかった町会運営者と地域の町会とかかわりのない子育て世帯との交流の場を作り出すことが出来ました。</u></p> <p>また、合わせて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文京学院大学古市ゼミによる湯島の子育てアンケート実施 ●地域店舗や小児科医院による子育て役立ち情報投稿コーナー <p>などの掲載をしました。文京学院大の大学生たちは子育てアンケートを通じて街の子どもイベントや防災訓練に参加し、地域の子育て事情について知見を深めていきました。また、<u>地域の店舗や小児科医院なども、子育て新聞の発行を重ねるごとに情報提供に協力的になって下さいました。</u></p> <p>事前に目的としていた</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域にある子育てにまつわる情報を集めて発信する ② 取材活動に地域の子育て世帯や子どもなどに参加・協力してもらい、地域の人の交流につなげる <p>は十分に果たされたと感じています。</p> <p>配布に関して、各町会、地元の協賛店舗、小児科、児童施設だけでなく、地域の保育園など子育てするお母さんたちが立ち寄るところに設置することが出来ました。</p> <p>* 配布頻度：季節ごとに一度5月・7月・10月・2月の計4回</p> <p>初号は、簡易版で2000部、夏・冬号は3000部、秋号は4000部作成。地域に縁のあるライター・編集歴のある方だけでなく子育て中のお母さんにも記事作成に参加していただきました。</p> <p>また、取材内容は紙媒体のみだけでなく、ゆしまごころ実行委員会のWEBに掲載し、発信を行いました。</p>

<p>協働団体 or 利用者 の声</p>	<p>●湯島の活動を広く町会員へ告知出来ていると感じています。また、町会にある飲食店にも協力頂き、お店へ来られる方にも広く湯島の活動を知ってもらえるようになりました。子育て座談会においては、小さな子供を抱えている方の悩みを相談する場であったり、新しい横の繋がりが出来るなど、大変良い試みだと思えます。(三組弥生会・佐久間様) *子育て新聞に町会として参加しての感想</p> <p>●マンションが建設されファミリー世帯が増えつつある湯島地区ですが、私自身が子育てをしていた20年前は親同士のコミュニケーションからでしか情報を得ることが出来ませんでした。時代の変化と共に共働き世帯が増え、情報は SNS などで知る世代が多くなりましたが、子育てに関する地域の細かな情報は SNS でも得られなかったり、他の情報に埋もれてしまうなか、子育て新聞は地域に密着し、地域の人が制作しているので細かな情報を発信することが出来たかと思えます。</p> <p>特に湯島地区は古くからの住民が多く、新しい子育てファミリーには敷居も高い行事も有る一方、行事を主催する側の高齢化や、沢山の方々に参加して欲しいという意図が伝わりにくかった部分が有りました。子育て新聞はこうした古くからの住民と新しい子育て世代の住民との架け橋的な役割が出来たと思えます。天一町会としましても町内会及び湯島地区で様々な情報を共有、発信ができ地域の活性化に貢献できたのではと考えます。</p> <p>また、ゆしま子育て座談会に参加し、日々町内会の中で過ごしているため、狭い範囲でしかも限られた方々とししか接点がありませんでしたが、座談会では地域の人はもちろん地域外の方々との交流で改めて自分自身のすべき事や、関わり合い方を再発見出来る機会となりました。(天一町会・仙波様)</p>
<p>協働による 効果</p>	<p>●協働町会が号を追うごとに増えた(開始時4町会→4号目時点で9町会に)</p> <p>●参加町会が増えたことによって、新聞の配布先が増え、より多くのひとの目に留まるようになった</p> <p>●3号で地域の防災活動について取り上げたところ、その後行われた防災イベントにこれまで未参加だった新住民が参加した</p>
<p>事業成果 および 今後の活 動予定</p>	<p>旧住民(町会)と新住民の橋渡しを目的として、子育て世帯へ新聞を通じて町会活動をわかりやすく伝えることができた。</p> <p>事業開始時は、「旧住民(町会)→新住民」と一方向のみの情報発信をイメージしていたが、座談会などを通じて「新住民→旧住民(町会)」について感じていることをヒアリングでき、旧住民(町会)側にも変化が必要だと感じられたことは大きな収穫だった。</p> <p>また、当事業の参加町会が増え、各町会が各々の活動を伝えるパンフレット作成に興味を持ち、別媒体を作成したという動きもみられた。「街の情報をわかりやすく発信したい」という当事業の目的が、思わぬ波及効果を生んだ。</p> <p>一方、つながりが増えたとはいえ、限られたスタッフ・協業者で作成しているために、個人の仕事状況により発行日が遅延するなど、スケジュール面では課題が残った。こうした課題を踏まえて、4号作成したことで得た「人・仕組み・資金」などのリソースを使い、今後も年3~4回の発行をめざして子育て新聞作成を継続していきたい。</p>

※別紙 1：事業スケジュール 報告

※別紙 2：収支決算報告

※別紙 3：関係者マップ 報告（提案時の内容と比較できる状態）

※追加別添 1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添 2：この事業の様子が分かる写真のデータ（10 枚以内）

別紙1:事業スケジュール 報告

作成日:令和2年 3月 7日

Bチャレ(提案公募型協働事業)【令和元年度】

団体名: ゆしまごころ実行委員会

実施内容	平成31年 令和元年					令和2年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フミコムとの打合せ	打合せ	●15:企業貢献ネットワー	●24:打合せ	●26:東京新聞取材	●28:広報課打	●10:打合せ						
文京つながるメッセでの活動紹介								●16:活動見本市				
文京学院大学古市ゼミ		●22:打	●11:打合せ				●10:打合せ					
地域誌		●13:春号配布開始		●25:夏号配布開始			●21:秋号配布開始				●14:冬号配布開始	
制作への協力依頼			●13:こばとくらぶ訪問	●14:東京こども専門学	●2	●6	●13:法	●5:たんぽぽ保育園訪問				
広告募集			●17:東京ガーデンパレスホテル訪問								●28:朝日信用金庫湯島支店会合	
地域の情報収集		情報収集										
取材活動	取材		取材	●26:夏号用対談		取材	●1	●20:秋号用対談	●5:冬号編集	●13:ゆしま子育て座談会		
編集作業	編集		編集			編集				編集		
設置場所・配布団体への営業		●13:順次配布		●25:順次配布			●21:順次配布				●14:順次配布	
WEBへの反映		情報更新		情報更新			情報更新				情報更新	

別紙2: 収支決算報告

作成日: 令和2年 2月 28日

「Bチャレ」(提案公募型協働事業)【令和元年度】

団体名: ゆしまごころ実行委員会

収入 932,000 円

費目	予算額	積算根拠
「Bチャレ」助成金	500,000 円	地域活性化部門
文京区区民課補助金	357,000 円	町会誌発行毎に各町会から17,000円支給 初号: 4町会×1号分/2号以降: 7町会×3号分
商店会協賛金	30,000 円	商店会より協賛金3万円
広告料収入ほか	45,000 円	広告掲載1枠5,000円×9枠ほか

支出 932,000 円

費目	予算額	積算根拠
印刷代	88,000 円	A3両面フルカラー2000部×1号(春)
印刷代	324,000 円	A3両面フルカラー3000部×3号(夏・秋・冬)
デザイン料	240000 円	@60,000円×4号
取材費	86400 円	@21,600円×4号
撮影料	86400 円	@21,600円×4号
編集運営会議費	18000 円	@1,500円×3回×4号
説明会開催費	15000 円	新聞へのスタッフ参加説明会費用 会場費ほか費用として
人件費	60000 円	新聞配布人員謝礼分3,000円×5名×4回
消耗品費	14200 円	新聞作成に関わる消耗品購入



